

# けやきの風

No.3

高崎市立新町第一小学校

## あいさつで始まる気持ちのいい一日 ～新町第一小のあいさつ運動～



あいさつ運動

毎週月曜日と火曜日の朝、児童玄関の前では「おはようございます！」の元気なあいさつが響いています。4～6年生と児童会の計画委員が中心になって今年度もあいさつ運動が始まりました。みんなが楽しく、気持ちよく学校生活を過ごすためには何が大切かを子どもたちといっしょに考え実行していきたいと思っていますが、あいさつも大切なその中の一つです。「元気な声で相手の目を見て笑顔で進んであいさつしよう」のスローガンのもと、気持ちのいいあいさつがあふれる学校を目指して、年間を通して取り組んでいきます。

あいさつは、学校だけのものではありません。家の中で交わす家族とのあいさつ、登下校の途中で交通指導員さんやサポーターさん、旗振りのお父さんやお母さんたちと交わすあいさつなどいろいろな場面でのあいさつがあります。子どもたちの基本的な生活習慣の育成に向けて、ご家庭や地域でもあいさつ運動へのご協力をよろしくお願いします。

## 安心・安全な学校づくり

### ～第1回避難訓練（不審者対応）が行われました～

子どもたちが安心して学校生活を過ごせるように、第一小では各学期に1回ずつ避難訓練を実施しています。6月5日（水）には、不審者の校内への侵入を想定しての第1回避難訓練が実施されました。

5年2組に不審者が侵入。間もなく校内放送が流れて子どもたちは校庭に避難を開始、職員がさすまたを持って現場に急行し、不審者を教室に留め置く間に避難が完了しました。実際には、この後、通報により駆けつけた警察官に不審者が確保されるという訓練の流れでした。

避難が完了した校庭では、安全教室が開かれました。今回の避難訓練に際してアドバイスをいただいた高崎警察署のスクールサポーターの方から子どもたちに、避難の際に「お・は・し・も」を守ることや帰宅後や休日に不審者に会った時には「いか・の・お・す・し」を思い出して行動することなどのお話がありました。

不審者対応には難しい面もありますが、警察等の関係機関とも連携しながら子どもたちの校内における安全確保に向けて、避難訓練の改善や安全教育の充実に努めていきたいと思えます。



教室での対応の様子

## 命を守る合い言葉

### ○避難の時の合い言葉

お・・・おさない  
は・・・はしらない  
し・・・しゃべらない  
も・・・もどらない

### ○不審者に会った時の合い言葉

いか・・・いかない  
の・・・のらない  
お・・・おおごえをだす  
す・・・すぐにげる  
し・・・しらせる

## 家庭・地域との連携 ～ボランティア活動の紹介～



読み聞かせの様子



学校指導員さんとの交流

本校では、毎月2回ほどのペースで読み聞かせを行っています。業前の時間にボランティアの方が各教室で本の読み聞かせを行っています。ボランティアには保護者であるお母さんたちの他に地域の方も参加されていて、子どもたちにとって本の楽しさを味わうことのできる大切な時間となっています。

毎週月・火・木の昼休みには、生活科室で1・2年生を対象に学校指導員さんとの交流が行われています。学校指導員さんには地域のおじいちゃん、おばあちゃんが参加してくださっています。お手玉、輪投げ、将棋など、指導員さんに遊びを教わりながら、子どもたちはお年寄りとのふれあいの時間を楽しんでいます。

## 【子どものよさを見つけて伸ばす】

ある国にく一入の男が暮らしていまして、男の仕事は水くみでした。毎日川の水を大男のせいで、あ「わっかたすは前いた花がてい心が満た

ある国にく一入の男が暮らしていまして、男の仕事は水くみでした。毎日川の水を大男のせいで、あ「わっかたすは前いた花がてい心が満た

ある国にく一入の男が暮らしていまして、男の仕事は水くみでした。毎日川の水を大男のせいで、あ「わっかたすは前いた花がてい心が満た

ある国にく一入の男が暮らしていまして、男の仕事は水くみでした。毎日川の水を大男のせいで、あ「わっかたすは前いた花がてい心が満た

ある国にく一入の男が暮らしていまして、男の仕事は水くみでした。毎日川の水を大男のせいで、あ「わっかたすは前いた花がてい心が満た

これは、以前私が参加したある研修会で講師の先生から聞いた話です。みなさんはこの話を聞いたことありますか。短所は他のものと比べて劣っているところ、弱点、欠点、短所の中に見える方を変えていくことが、消極的な性格である→思慮深く慎重に行動できるなど。水くむ壺としてひび割れた壺は致命的な役割を持つお子さん一人ひとりの子どもを見つければ、そのよさを伸ばしてあげなさい。」